

## 5 長岡 �慎一(山形県西置賜郡飯豊町)

品種	作付面積	単収	地域の単収との差(地域の平均単収)
ふくひびき	1.5ha	788kg/10a	181kg/10a(607kg/10a) <sup>*</sup>

\*作況補正後の地域の平均単収

### 【経営概況】

- 家族経営(本人・配偶者・息子)
- 共同出資で、飼料用米専用乾燥機等を設置し、経費節減を図る
- 肉用牛肥育農家であり、牛糞と穀殻を活用し、牛糞もみ殻堆肥を自給

### 【作付品目】

- |            |                       |       |
|------------|-----------------------|-------|
| ○主食用米:     | つや姫、雪若丸、<br>はえぬきなど4品種 | 4.8ha |
| ○飼料用米:     | ふくひびき                 | 1.5ha |
| ○飼料作物      |                       | 2.6ha |
| ○大豆(16.3a) | は作業委託                 |       |



### 【取組のきっかけ】

- 収穫時期の分散と作業負担軽減から、平成25年から「べこごのみ」により取組を開始、平成26年からより地域に合う「ふくひびき」に変更。



### 【取組概要】

- 施肥では「飼料用米専用コート(基肥一発肥料)」をベースに牛糞もみ殻堆肥(自給)2.5t/10aを散布するとともに、生育状況を見ながら、幼穂形成期及び穂ばらみ期に安価な硫安、尿素などの単肥N1.5kg/10aを追肥し、収量確保に努めた。
- 病害虫防除は発生状況を見ながら除草剤を2回使用。
- 近隣の飼料用米生産者との共同出資で飼料用米専用乾燥機等を設置、共同利用による経費節減を図っている。
- 仲介業者を通して、飼料メーカーへ玄米の状態でフレコン(1t)出荷することで、包装容器代及び運搬経費を削減。また、飼料メーカーとは、長年のつきあいがあり、安定した需要の確保により、経営を安定化。

## 6 株式会社アグリイワナガ(佐賀県杵島郡白石町)

品種	作付面積	単収	地域の単収との差(地域の平均単収)
ミズホチカラ	8.0ha	778kg/10a	244kg/10a(534kg/10a) <sup>*</sup>

\*作況補正後の地域の平均単収

### 【経営概況】

- 平成24年4月に設立
- 経営主、配偶者及び常時雇用2名、期間雇用数名による経営
- 土地利用型作物のほか、レンコンを栽培

### 【作付品目】

- |               |        |
|---------------|--------|
| ○主食用米:ヒノヒカリなど | 6.1ha  |
| ○飼料用米:ミズホチカラ  | 8.0ha  |
| ○大豆:フクユタカ     | 10.0ha |
| ○大麦:サチホゴールデン  | 29.2ha |
| ○レンコン         | 2.9ha  |



### 【取組のきっかけ】

- 平成27年産から地域内の農業者の呼びかけにより5戸の農業者で飼料用米栽培を開始



### 【取組概要】

- 苗は自家育苗し、育苗中にローラーによる「苗踏み」を行うことで、茎が太く短く、根張りの良い健苗としている。これにより、移植後の活着や分けが良くなり、高収量を実現している。また、疎植(18箱/10a:株間18cm:60株/坪)により、省力低コスト化にもつながっている。
- 施肥は基肥一発肥料8kgN/10a、硫安4kgN/10aに加え、近隣畜産農家に稻わら・麦わらを供給する代わりに牛糞堆肥4t/10aを無償で散布してもらっている。また、大豆後、レンコン後など肥料分の多いは場に優先的に飼料用米を作付け。
- 飼料用米の販売契約先である養鶏業者に出荷する際に、各農業者が生産した飼料用米を各自乾燥後、フレコンパッケージに入れて一時保管場所に集約し、そこで農産物検査後、共同で手配した大型トラックにより養鶏業者まで輸送することで、個々で出荷するより輸送費の削減を実現。
- (株)クボタのKSAS(営農支援システム)を利用したほ場管理、作業管理を行い、更なる効率化を図っている。